

第1章

事業の概要



趣 旨

現在、グローバル化が進展する中で、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会のみならず、地域社会等においてもグローバル化対応を牽引・指導するリーダーが必要となっている。次世代グローバルリーダー事業「世界青年の船」事業（以下「世界青年の船」事業）は多様なバックグラウンドを持つ青年が参加し、各分野でリーダーシップを発揮して、

社会貢献を行うことができる青年を育成することが趣旨である。さらに本事業は、諸外国青年が集まる世界の縮図といえる環境で、共同生活をしながら、セミナーやディスカッション、文化交流の機会を提供することにより、相互理解や国境を越えた人的ネットワークの形成を促進し、人材育成面での国際貢献を行うことも目指すものである。

参加国・訪問国・使用船

1 参加国・訪問国

参加国は11か国で、これらの国から合計234名（外国参加青年116名、日本参加青年118名）の青年が参加した。

- ・ブラジル連邦共和国
- ・カナダ
- ・コスタリカ共和国
- ・エジプト・アラブ共和国
- ・フィジー共和国
- ・インド
- ・ケニア共和国
- ・ニュージーランド
- ・トンガ王国
- ・ウクライナ
- ・日本

訪問国は以下の2か国である。なお、（ ）内は寄港した都市。

- ・ニュージーランド（オークランド）
- ・フィジー共和国（スバ）

2 使用船

「世界青年の船」事業における船上研修は、商船三井客船株式会社が備船する「にっぽん丸」を使用し、その運航も同社に委託した。



事業内容

「世界青年の船」事業では、日本と世界の10か国の青年が、34日間にわたる陸上、船上研修及び訪問国活動に参加し、世界的視野に立った共通の課題に関するディ

スカッションやセミナーを始め、各種の研修や交流活動を行った。

1 事業の日程

平成28年度「世界青年の船」事業の日程は、次のとおりであった。

事 項	期 間
日本参加青年選考試験	平成28年6月18日(土) 19日(日) 及び6月25日(土)
各国連絡会議	平成28年7月4日(月) ～ 5日(火)
各国政府担当職員招へい会議	平成28年7月6日(水) ～ 7日(木)
ファシリテーター会議	平成28年8月2日(火) ～ 5日(金)
管理部設置	平成28年9月1日(木) ～ 平成29年3月17日(金)
事前研修(日本参加青年のみ)	平成28年9月10日(土) ～ 9月15日(木)
地方プログラム受入れ都道府県担当者会議	平成28年10月12日(水)
NL会議	平成28年10月17日(月) ～ 10月20日(木)
日本国内活動(外国参加青年のみ)	平成29年1月19日(木) ～ 1月22日(日)
出航前研修(日本参加青年のみ)	平成29年1月21日(土) ～ 1月22日(日)
陸上研修	平成29年1月23日(月) ～ 1月28日(土)
船上研修	平成29年1月29日(日) ～ 3月2日(木)
帰国後研修(日本参加青年のみ)	平成29年3月3日(金) ～ 3月4日(土)

2 詳細日程

	月 日		午前①	午前②	午後①	午後②	夜	
			(陸上) 9:15～10:30 (船上) 9:30～10:45	(陸上) 10:45～12:00 (船上) 11:00～12:15	(陸上) 14:15～15:30 (船上) 14:15～15:30	(陸上) 15:45～17:00 (船上) 15:45～17:00	(陸上) 20:00～21:00 (船上) 20:00～21:00	
1	1.17 (火)		外国参加青年来日					
2	1.18 (水)		時差調整・体調管理	10:00～12:00/12:00～14:00 オリエンテーション、歓迎会				
3	1.19 (木)	地方プログラム	地方プログラム (表敬訪問、歓迎会)					
4	1.20 (金)		地方プログラム (ホームステイ)					
5	1.21 (土)		OPY: 地方プログラム (ホームステイ) JPY: 出航前研修					
6	1.22 (日)		OPY: 地方プログラム (東京へ移動) JPY: 出航前研修					アイスブレイキング
7	1.23 (月)	陸上研修	全体オリエンテーション		異文化理解セミナー① (対人関係)		クラブ活動紹介	
8	1.24 (火)		都内視察					NP 練習
9	1.25 (水)		リーダーシップ・セミナー①		コース顔合わせ	LG、委員会決め		委員会活動
10	1.26 (木)		コース・ディスカッション①		課題別視察			NP 練習
11	1.27 (金)		スポーツ&レクリエーション①		休日			
12	1.28 (土)		NP ① (各国事情紹介)			コースディスカッション②		オリセン退所説明
13	1.29 (日)		プロジェクトマネジメント・セミナー①		横浜港へ移動	乗船	ADM オリエンテーション	
14	1.30 (月)		9:00-10:30 / 10:45-11:00 / 11:15-11:45 出国手続き、船側オリエンテーション、避難訓練		13:30-15:00 / 15:00-15:30 オープンシップ、出航式	16:00 横浜出港		管理官講話
15	1.31 (火)	リーダーシップ・セミナー②		船長講話	委員会活動	心理学セミナー		
16	2.1 (水)	休日						
17	2.2 (木)	スキルセミナー①		NP ② (文化紹介) 日本、トンガ、 ニュージーランド				
18	2.3 (金)	異文化理解セミナー②		NP ② (文化紹介) コスタリカ、 カナダ、ウクライナ、フィジー				
19	2.4 (土)	PY セミナー①		NP ② (文化紹介) エジプト、 ブラジル、インド、ケニア				
20	2.5 (日)	船上研修	コース・ディスカッション③		休日			
21	2.6 (月)		リーダーシップ・セミナー③		クラブ活動①			
22	2.7 (火)		PY セミナー②		委員会活動	デリゲーション・ ミーティング	アドバンスセミナー (選択制)	
23	2.8 (水)		入港 9:00 出港 19:00	ポートビラ寄港 (給油・給水)				
24	2.9 (木)		アドバイザー・セミナー		コース・ディスカッション④			
25	2.10 (金)		PY セミナー③		公式写真撮影	ブリッジツアー	アドバンスセミナー (選択制)	
26	2.11 (土)		リーダーシップセミナー④		14:15-15:15 団長講話	訪問国活動準備		
27	2.12 (日)		入港 9:00	オークランド入港	訪問国活動 (ニュージーランド)			
28	2.13 (月)	訪問国活動 (ニュージーランド)					レセプション	

	月 日		午前①		午前②		午後①		午後②		夜		
			(陸上) 9:15～10:30 (船上) 9:30～10:45	(陸上) 9:15～10:30 (船上) 9:30～10:45	(陸上) 10:45～12:00 (船上) 11:00～12:15	(陸上) 10:45～12:00 (船上) 11:00～12:15	(陸上) 14:15～15:30 (船上) 14:15～15:30	(陸上) 14:15～15:30 (船上) 14:15～15:30	(陸上) 15:45～17:00 (船上) 15:45～17:00	(陸上) 15:45～17:00 (船上) 15:45～17:00	(陸上) 20:00～21:00 (船上) 20:00～21:00	(陸上) 20:00～21:00 (船上) 20:00～21:00	
29	2.14 (火)	船上研修	出港 18:00	訪問国活動 (ニュージーランド)				オークランド出港		振り返り			
30	2.15 (水)			公式写真撮影			クラブ活動②						
31	2.16 (木)			休日									
32	2.17 (金)		入港 14:00	訪問国活動準備			スバ入港		レセプション				
33	2.18 (土)			訪問国活動 (フィジー)									
34	2.19 (日)			訪問国活動 (フィジー)									
35	2.20 (月)		出港 12:00	スバ出港			振り返り		委員会活動		デリゲーション・ミーティング		
36	2.21 (火)			スキルセミナー②			クラブ活動③						
37	2.22 (水)			コース・ディスカッション⑤			スポーツ&レクリエーション②						
38	2.23 (木)		入港 12:00 出港 22:00	プロジェクトマネジメント・セミナー②			ホニアラ寄港 (給油・給水)						
39	2.24 (金)			事後活動セッション①			キャリアセミナー (管理部主催、選択制)						
40	2.25 (土)			事後活動セッション②			エキシビション (クラブ活動の成果発表)						
41	2.26 (日)			休日									
42	2.27 (月)			異文化理解セミナー③ (Re-entry)			サマリー・フォーラム準備						
43	2.28 (火)			リハーサル			サマリー・フォーラム						
44	3.1 (水)			評価会			修了式		下船説明		フェアウェルディナー		
45	3.2 (木)			下船準備									
46	3.3 (金)		入港 8:00	東京帰港	11:30 解散式・解散パーティー			下船		(外国参加青年は成田空港へ、 日本参加青年は帰国後研修へ)			
47	3.4 (土)		帰国後 研修	日本参加青年帰国後研修									

3 研修科目

研修科目	研修内容
オリエンテーション 全体オリエンテーション (2 時間 30 分) アイスブレイキング (1 時間)	管理官あいさつ、アドバイザー・NL・管理部員紹介 カリキュラム説明等 PY たち同士の交流
研修科目 リーダーシップ・セミナー (10 時間) 異文化理解セミナー (7 時間 30 分) プロジェクトマネジメント・セミナー (5 時間) 心理学セミナー (1 時間) アドバンスセミナー (2 時間) 都内視察 (1 日) 委員会活動 (4 時間 45 分) コース・ディスカッション ・全 5 回のセッション (12 時間 30 分) ・サマリー・フォーラム準備・発表 (7 時間 30 分) ・課題別視察 (日本、ニュージーランド、フィジー) 計 3 回 スポーツ・レクリエーション (5 時間) 計 2 回 PY セミナー (7 時間 30 分) スキルセミナー (5 時間) ナショナル・プレゼンテーション (12 時間) 事後活動セッション (5 時間) フェアウェル・ディナー (1 時間)	リーダーシップに関する有識者セミナー 異文化理解に関する有識者セミナー プロジェクトマネジメントに関する有識者セミナー 心理学に関する有識者セミナー 3 つのセミナーをより深く学ぶセミナー レター・グループごとの視察活動 参加青年による各種活動の企画・運営 「青年の社会貢献」をテーマとしたディスカッション ファシリテーター主導のディスカッション コース・ディスカッションのまとめ・発表 各コースのテーマに沿った施設訪問 レター・グループ単位で行う運動会 参加青年が発表者となるセミナー等 参加青年が自分自身のスキルを他の参加青年に共有 参加青年による自国の文化等の紹介 既参加青年による事後活動の説明及び事業後の社会貢献 各種趣向を凝らした船内最後の夕食会
公式行事 外国参加青年歓迎パーティー 表敬訪問 オープンシップ 出航式 船側オリエンテーション・避難訓練 寄港地活動(ニュージーランド、フィジー)(計 7 日間) ・寄港地活動準備 (5 時間) ・寄港地活動振り返り (2 時間 15 分) 公式写真撮影 下船説明 評価会 修了式 解散式・解散交歓会	来日した外国参加青年の歓迎パーティー 参加青年の代表による首相表敬及び皇太子殿下御接見 船内見学 出航前のセレモニー 船側施設の説明、船内非常時を想定した避難訓練 各種施設の視察、現地の青年や関係者との交流 寄港地活動における事前準備 寄港地活動での学び・気付きの共有 報告書用の写真撮影 下船手続きの説明 事業評価用のアンケート記入等 修了証書の授与等 解散式、交歓会
その他 外国参加青年地方プログラム 日本参加青年出航前研修及び帰国後研修 デリゲーション・ミーティング レター・グループ活動 自主活動	表敬訪問、各種施設の視察、ホームステイ 日本参加青年のみの研修 各国ごとの活動 レター・グループごとの活動 (原則、毎日 30 分) 参加青年が自由に企画する活動

※寄港地活動での科目を除く

※合計：約 222 時間

組織

「世界青年の船」事業は、管理官・副管理官・管理部員等（管理部）、団長、アドバイザー並びに参加青年をもって組織した。また、本事業を円滑に実施するために、ナショナル・リーダー会議を実施した。

1 管理官、管理部員

管理官 大熊 直人 政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青少年企画担当）付調査官
 副管理官 大部 俊 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青年国際交流担当）付参事官補佐（青年交流第2担当）

管理部員等 25名

《任務》 管理官は、本事業の実施に関し日本政府を代表し、本事業の実施に係る事務を統括する。
 副管理官は、管理官を補佐し、管理官に事故があるときは、その職務を代行する。
 管理部員は、管理官の命を受けて、本事業に係る事務を処理する。

2 団長

団長 山崎 日出男 国立公文書館 アドバイザー

《任務》 団長は、参加青年で構成される団を代表し、儀礼等に当たるとともに、研修全般について助言する。

3 アドバイザー

クレイグ・ベイティ 富士通株式会社グローバルマーケティング本部 VP
 青木 聡美 CTI ジャパン
 三好 崇弘 有限会社エムエム・サービス
 堀 大介 ホスピタル坂東

4 参加青年

参加青年は、参加国団、レター・グループ、委員会、コース・ディスカッションの四つのグループに所属し、陸上及び船上研修で各種活動を行った。

参加国団

各参加国団のうち、それぞれ1名をナショナル・リーダー（National Leader: NL）とし、日本については、加えて1名をサブ・ナショナル・リーダー（Sub-National Leader: SNL）とした。また、各国について、参加青年のうち、2名をアシスタント・ナショナル・リーダー（Assistant National Leader: ANL）とした。

《任務》

- NLは自国を代表するとともに、自国の代表団を統率し、かつ、NL会議を構成する。NL会議は、管理官からの依頼に従い、事業期間中における生活、活動の基本的事項について協議し、決定する。SNLは、NLを助け、上記の役割を担う。
- ANLは、NL及びSNLを補佐し、NL及びSNLに事故があるときは、その役割を代行する。

レター・グループ

陸上及び船上研修における活動の基礎単位として、参加青年は11のグループに組織された。各グループは約20名の参加青年からなり、各グループを組織する際には、国籍、年齢、職業等に偏りのないよう考慮した。各グループには、NLが1名ずつグループ・リーダー（Group Leader: GL）として配置され、さらに、参加青年の中からアシスタント・グループ・リーダー（Assistant Group Leader: AGL）3名（うち日本参加青年2名、外国参加青年1名）を置く構成とした。

《任務》

- GL
 - ア グループの参加青年を統率する。
 - イ 陸上・船上研修及び寄港地活動において、グループをまとめる。

ウ ほかのグループとの連絡・調整に当たる。

- AGL
 - ア GLを助け、GLが欠けた場合には、GLに代わってグループの参加青年を統率する。
 - イ 陸上・船上研修及び寄港地活動での諸活動において、GLを助け、必要な職務を分担する。
 - ウ グループ内の参加青年の連絡・調整に当たる。他のグループとの連絡を密接にする。
 - エ グループ内の健康管理について管理部看護師の補助など、参加青年の生活環境全般についてもサポートする。

委員会

参加青年間の交流を図り、相互の友好と理解を促進することを目的とする様々な行事・活動を企画、実施するために必要な業務及び管理部との連絡を行うため、九つの委員会が組織された。

- AGL（アシスタント・グループ・リーダー）委員会
- コース・ディスカッション運営委員会
- 異文化理解セミナー委員会
- リーダーシップ・セミナー委員会

- プロジェクトマネジメント・セミナー委員会
- PYセミナー委員会
- スキルセミナー委員会
- ナショナル・プレゼンテーション委員会
- イベント委員会
- クラブ活動委員会
- 寄港地活動委員会

コース・ディスカッション

コース・ディスカッションは、「青年の社会貢献」を共通テーマとし、世界的視野に立った共通の課題に関するディスカッションを六つのテーマに分かれて実施した。

- 防災活動のための人材育成
- ダイバーシティ推進とインクルーシブ社会の実現
- 平和構築のための対話型アプローチ
- 国際貢献活動
- 責任あるツーリズム
- 青年のエンパワメント

5 ナショナル・リーダー会議（グループ・リーダー会議）

NL会議は、参加各国のNLで構成された。

NL会議は、以下の機能を有し、本事業を円滑に実施するため、公式・非公式に会議を開いた。

- 管理部からの依頼により、プログラム参加に当たっての参加青年に関する生活面の決まり事やプログラム実施の内容を協議し決定する。
- 日程などを含めプログラムに関し、NL間の情報交換の場とする。

- 委員会において、各委員会で決定がなされた全体に関わる内容や運営方法について報告を受ける。各委員会の決定した内容や運営方法について特段の意見がある場合は、NL会議で協議することができる。NL会議でまとめられた意見は尊重され、各委員会に伝えられる。各委員会はその意見を尊重しつつ再決定を行う。